

# 平成12年 技術開発実施報告・計画

宮崎森林管理署 都城支署

様式 2

課 題 目 的	1. 広葉樹用材林育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」	継 続 担 新 規 当	指導普及課 森林整備課	開発 箇所	遅 霧 国有林 30ち 林小班	
	皆伐天然下種更新における更新施業の検討を行う	開発期間	昭和58年度～平成14年度			
年度別実施経過	12年度 実施報告	13年度 実施計画				
	実施内容	備 考 (評価及び普及指導)				
1. 試験地設定 (1) 時期 昭和58年5月 (2) 場所 遅霧国有林30ち林小班 (3) 面積 4.99HA (昭和57年度伐採跡地) 2. 調査事項 (試験地に10箇所のプロット設定) (1) 稚樹発消長調査 (昭和58年度～3年度) (2) 樹高成長調査 (昭和60年度～3年度) (3) 植生調査 (昭和59年度) (4) 成長量調査 (平成8年度) 3. 施業区を設定 (1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10 が、刈出区5、無下刈区5となるよう刈出 し施業区を設定 (2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定 4. 保育 刈出し、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施 5. 試験地設定 (平成5年度) (1) 枝打試験地 (2) 除伐試験地設定 (3) ぼう芽木間引試験地設定 6. 5年以降の保育・整備 つる切 2.40 HA 歩道整備 (平成7年度～平成12年度) 枝打 プロット別 (平成8年度)	1. 成長量調査 2. プロット別の枝打実施 3. 枝打後の追跡調査 4. 進入歩道の整備	実 施 計 画	1. 成長量調査 2. つる切 3. 枝打後の追跡調査 4. 進入歩道の整備			
経 費 科 目						
		品 名	数 量	単 価	金 額	
	物件費					
	役務費					
	人件費	基 職	( )人			
		臨 時	10人			
		計	10人		円	

- (注) 1. 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。  
 2. 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。  
 3. 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

# 平成14年 技術開発実施報告

様式 2

宮崎森林管理署 都城支署

課 題	1. 広葉樹用材林育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」	継 続 担	指導普及課	開 発	遅霧 国有林
目 的	皆伐天然下種更新における更新施業の検討を行う	新 規 当	森林整備課	箇 所	30ち 林小班
的		開 発 期 間	昭和58年度～平成14年度		
年 度 別 実 施 経 過	14年度 実 施 報 告	15年度 実施計画			
	実 施 内 容	備 考 (評価及び普及指導)			
1. 試験地設定 (1) 時期 昭和58年5月 (2) 場所 遅霧国有林30ち林小班 (3) 面積 4.99HA (昭和57年度伐採跡地) 2. 調査事項 (試験地に10箇所のプロット設定) (1) 稚樹発消長調査 (昭和58年度～3年度) (2) 樹高成長調査 (昭和60年度～3年度) (3) 植生調査 (昭和59年度) (4) 成長量調査 (平成8年度～平成14年度) 3. 施業区を設定 (1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10 が、刈出区5、無下刈区5となるよう刈出 し施業区を設定 (2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定 4. 保育 刈出し、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施 5. 試験地設定 (平成5年度) (1) 枝打試験地 (2) 除伐試験地設定 (3) ぼう芽木間引試験地設定 6. 5年以降の保育・整備 つる切 2.40 HA 歩道整備 (平成7年度～平成14年度) 枝打 プロット別 (平成8年度)	1. 成長量調査 2. プロット別の枝打実施 3. 枝打後の追跡調査 4. 進入歩道の整備			な し	

- (注) 1. 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。  
 2. 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。  
 3. 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

# 技 術 開 発 完 了 報 告

様式 3

宮崎森林管理署都城支署

課 題	1. 広葉樹林育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法		開発期間	昭和58年度～平成14年度			
開発箇所	遅霧国有林30ち林小班	技術開発目標	皆伐天然下種における更新施業の検討を行う	担 当			
開発目的	皆伐天然下種における更新施業の検討をおこなう。						
実施経過	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. 試験地設定</p> <p>(1) 時期 昭和58年5月</p> <p>(2) 場所 遅霧国有林30ち林小班</p> <p>(3) 面積 4.99HA（昭和57年度伐採跡地）</p> <p>2. 調査事項（試験地に10箇所のプロットを設定）</p> <p>(1) 稚樹発消長調査（昭和58年度～平成3年度）</p> <p>(2) 樹高成長調査（昭和60年度～平成3年度）</p> <p>(3) 植生調査（昭和59年度）</p> <p>(4) 成長量調査（平成8年度）</p> <p>3. 施業区を設定</p> <p>(1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10が、刈出区5，無下刈区5となるよう刈出し施業区を設定</p> <p>(2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>4. 保育</p> <p>刈出、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施</p> <p>5. 試験地設定（平成5年度）</p> <p>(1) 枝打試験地</p> <p>(2) 除伐試験地</p> <p>(3) ぼう芽木間引試験地</p> <p>6. 5年以降の保育・整備</p> <p>つる切 2.40HA</p> <p>歩道整備（平成7年度～平成14年度）</p> <p>枝打 プロット別（平成8年度）</p> </td> </tr> </table>					<p>1. 試験地設定</p> <p>(1) 時期 昭和58年5月</p> <p>(2) 場所 遅霧国有林30ち林小班</p> <p>(3) 面積 4.99HA（昭和57年度伐採跡地）</p> <p>2. 調査事項（試験地に10箇所のプロットを設定）</p> <p>(1) 稚樹発消長調査（昭和58年度～平成3年度）</p> <p>(2) 樹高成長調査（昭和60年度～平成3年度）</p> <p>(3) 植生調査（昭和59年度）</p> <p>(4) 成長量調査（平成8年度）</p> <p>3. 施業区を設定</p> <p>(1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10が、刈出区5，無下刈区5となるよう刈出し施業区を設定</p> <p>(2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定</p>	<p>4. 保育</p> <p>刈出、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施</p> <p>5. 試験地設定（平成5年度）</p> <p>(1) 枝打試験地</p> <p>(2) 除伐試験地</p> <p>(3) ぼう芽木間引試験地</p> <p>6. 5年以降の保育・整備</p> <p>つる切 2.40HA</p> <p>歩道整備（平成7年度～平成14年度）</p> <p>枝打 プロット別（平成8年度）</p>
<p>1. 試験地設定</p> <p>(1) 時期 昭和58年5月</p> <p>(2) 場所 遅霧国有林30ち林小班</p> <p>(3) 面積 4.99HA（昭和57年度伐採跡地）</p> <p>2. 調査事項（試験地に10箇所のプロットを設定）</p> <p>(1) 稚樹発消長調査（昭和58年度～平成3年度）</p> <p>(2) 樹高成長調査（昭和60年度～平成3年度）</p> <p>(3) 植生調査（昭和59年度）</p> <p>(4) 成長量調査（平成8年度）</p> <p>3. 施業区を設定</p> <p>(1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10が、刈出区5，無下刈区5となるよう刈出し施業区を設定</p> <p>(2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定</p>	<p>4. 保育</p> <p>刈出、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施</p> <p>5. 試験地設定（平成5年度）</p> <p>(1) 枝打試験地</p> <p>(2) 除伐試験地</p> <p>(3) ぼう芽木間引試験地</p> <p>6. 5年以降の保育・整備</p> <p>つる切 2.40HA</p> <p>歩道整備（平成7年度～平成14年度）</p> <p>枝打 プロット別（平成8年度）</p>						
開発成果	<p>ケヤキ 1. 稚樹は刈出しをした箇所に良く発生し、育成はこの稚樹とぼう芽を行った。</p> <p>2. 成長は無刈出し区の谷筋で若干成長が見られるものの、ほとんどのプロットで成立本数がなく用材林としては期待できない。</p>						
評価及び普及指導	<p>1. 稚樹の発生は刈出しを行った区域ほど良好であるが、稚樹間及び他の植生との競合により消長がある。</p> <p>2. プロット外の広葉樹林分ではつる等の侵入があるため、刈出・つる切を実施する必要がある。</p> <p>3. 育成の結果ケヤキは用材林としての期待はできないため、他広葉樹との調整を図るべきである。</p>						

状 況 内 訳

30ち林小班

	刈 出 区	無 刈 出 区	
稚 樹 の 発 生	○	△	
ぼ う 芽	○	△	
樹 形	×	△	
成 長 量	×	△	

凡 例

○	上
△	中
×	下



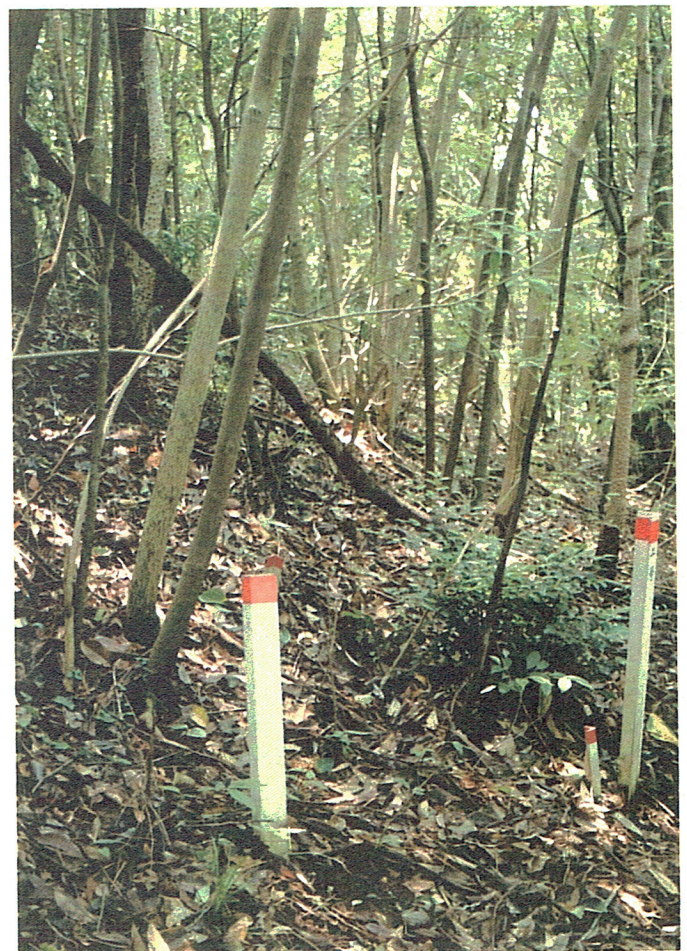
1号プロット



試験林



3 3



2 3



4 号



5 号



6 号



7 号



8号



9号



10号